
perfume

gossip

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

perfume

【コード】

N9310Y

【作者名】

gossip

【あらすじ】

ちよつと背伸びしたかった

あの男にであって私は楽だった

出会い。屋上

私の好きな人は背が高く、痩せ型で金より甘い色のくせ毛

指には、髑髏どくろのring少し煙草の匂い

私はこの男ひとが好きだ。

この男は、理科の先生で私はその生徒。かなり掟破りの恋と思われ
てもしょうがない

この男の名は「桐生馨きりゆうかおる」

そして私の名は「大崎麗おおさきれい」

高校2年学歴優秀

規則ばかりの毎日に飽きてしまった

リボン、ブレザー、シャツ、スカート、勉強

こんな平凡で窮屈な中から抜け出したかった

空は自由で好き。屋上は私にとって大切な場所

あの男と出会ったのもこの屋上で

自分自身(前書き)

私はあいつ(きりゆう)にであって優しさ、愛情、人を好きになる
ことを初めて知りました。

恋の序

自分自身

ああ〜もうヤダ。。。うるさい

理科の授業終わり女子たちが桐生とキヤーキヤー言いながら話している

私は孤独かもしれない。終わってるなにもかも

私の家族はお母さんと2人

お母さんの愛情は歪んでたお父さんと離婚してお酒にはしった

心配する私に「あなたも寂しい女なんだから」と言ってくる

だから私は、勉強も料理も頑張ったでも、私の居場所はなかった

こんな気持ちは桐生には分かるはずもない

きつと友達なんて利用価値があるから一緒に居るだけだと思っ

だから地味に目立たずクラスに居よう

そうしたらきっと孤独に慣れるから

寂しい私なんだ

自分自身（後書き）

麗と桐生はまだ出会ってないのです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9310y/>

perfume

2012年1月12日18時53分発行